

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム平和

作成日: 令和 6 年 8 月 17 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看取りの実施について、の事業所独自の終末期対応の指針を作成してはいかがか。	終末期の希望アンケートを入所時に取っているが、事業所独自の指針を作成し、併せてご家族に提示し、より細かい希望を把握できる様にする。	主治医の先生の意見も確認をし、指針の作成を行う。 入所中の利用者様ご家族にも提示する。	3ヶ月
2	17	○入浴を楽しむ事ができる支援 風呂に入りたいといった声もあるようなので、入浴日を1日増やし毎日声掛けをして、入りたい利用者が入れる支援の在り方を工夫してはいかがか。	1日でも多く入浴日を増やし利用者様に入っただけの様支援をする。	入浴できるように職場会議にて職員と検討を実施する。職員の確保や、時間の見直し、および水道光熱費の節約等検討。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。